

ポルシェ用 0993S

ラフィックス専用ショートボス 取付け注意事項

装着前に必ずお読み下さい。

- ・993 ティプトロニック(以下記:Tips)付はステアリングホイールでのシフトチェンジが出来なくなります。ボックスター Tips 付には取付けできません。
- ・本製品は弊社製品:ラフィックスシリーズを車両に取り付ける為の専用ショートボスです。それ以外での用途にはご使用にならないで下さい。
- ・エアバック(以下:SRS)の警告灯を消灯させるためのダミーハーネスは、消灯を100%保障する物ではありません。車両の電気的特性により消灯できない場合、また後日点灯してしまう場合があります。ご了承下さい。
- ・運転席SRSを取り外し警告灯が消灯出来ても、その他のSRS又はそれに関連した装置の作動を保障する物ではありません。
- ・SRS装着車には任意保険加入時に割引料金が自動的に適用されております。ご加入の保険会社に契約内容の変更を必ず連絡してください。連絡を怠ると、保険金等支払を受けられない場合があります。
- ・SRSを取り外すことにより、安全性が低下する場合があります。本製品をご使用の際はリスクを十分理解し、自己責任の元にご使用ください。
- ・お取り付けの前に純正ハンドルの裏側と、ボスの裏側の形状とをよく見比べて、大きな形状の差が無いか確認してください。稀に車両側部品のばらつき等で適合しない物があります。適合しない物を無理に取り付しますと、車両部品の破損、運転時の事故に繋がる恐れがあります。また、取り付け作業は正しい手順・方法で行わないとSRSが爆発する危険性があります。
- ・重要保安部品になりますので、しかるべき知識を保有する販売店又は専門業者に取り付けを依頼することを、強くお勧めします。
- ・オーディオリモコン装着車はその機能が使用出来なくなります、本体側で操作して下さい。

当製品は2ピース構造になっております、上部と下部はボルトで工場出荷時に規定のトルクで締め付けてあります。絶対に緩めないで下さい。

取付けに必要な工具

- ・プライヤー又はラジオペンチ
- ・ソケットレンチ(24mm)
- ・ビニールテープ
- ・その他場合によりカッターナイフ等
- ・トルクスT30

装着手順

1、作業開始準備

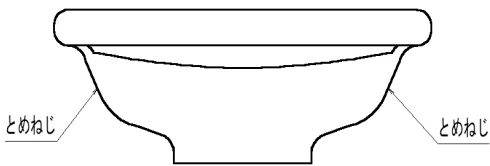
車両を作業が出来る安全な場所に確実に停車させて下さい。

装着前にタイヤとステアリングホイールを直進状態にして下さい。

2、バッテリー端子の取り外し

バッテリーのマイナス端子を外して10分放置して下さい。

3、純正ステアリングの取り外し方法



純正ステアリングホイール裏面の左右 2 個所に SRS モジュールのとめネジがありますので、トルクス(T30)を使用して緩めて下さい。

4、SRSユニットの取り外し

SRSモジュール本体を取外し裏側のハーネス類を外して下さい。

はずした SRS モジュールには絶対に電気を流さないで下さい。

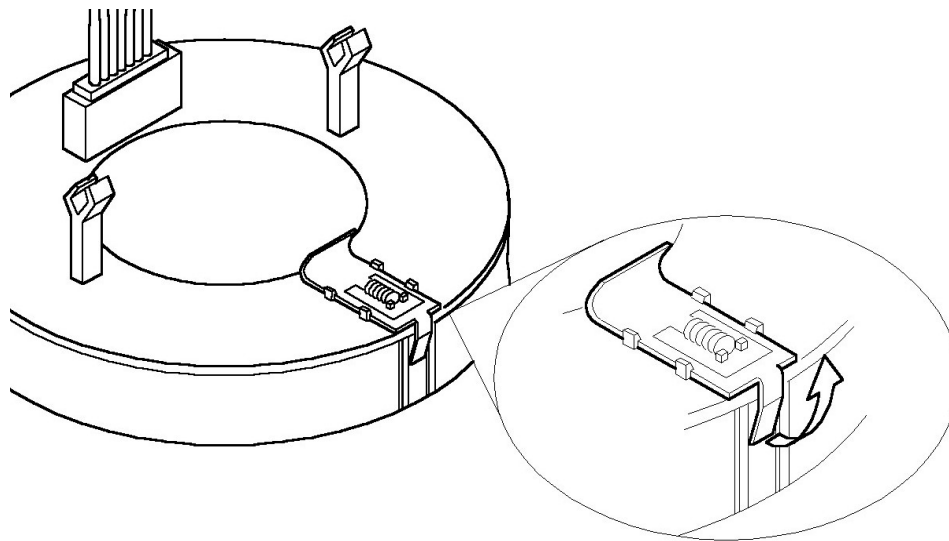
(テスター等も含む。爆発する可能性があります大変危険です)

5、ステアリングの取り外し

センターナット(24mm)を緩めてステアリングホイールを取外して下さい。

6、誤回転防止爪の解除

車体側スパイラルケーブルの誤回転防止の爪をプライヤー等で持ち上げて下さい。



注:車体側スパイラルは絶対に回さないで下さい。

(左右の回転数が決まっており、回転させた状態でハンドルを取り付けて走行するとスパイラルケーブルを破損します。)

7、ボスの取り付け

ボスの裏面の穴にスパイラルケーブルか出ているハーネスを入れ、TOP を合わせてボスを挿入し、センターナットを軽く締めて下さい。

8、SRSモニターランプ対策

SRS カプラーに付属ヒューズ付ジャンパー線を差込んでビニールテープなどで固定して下さい。(ヒューズ付ジャンパー線に極性は有りません)

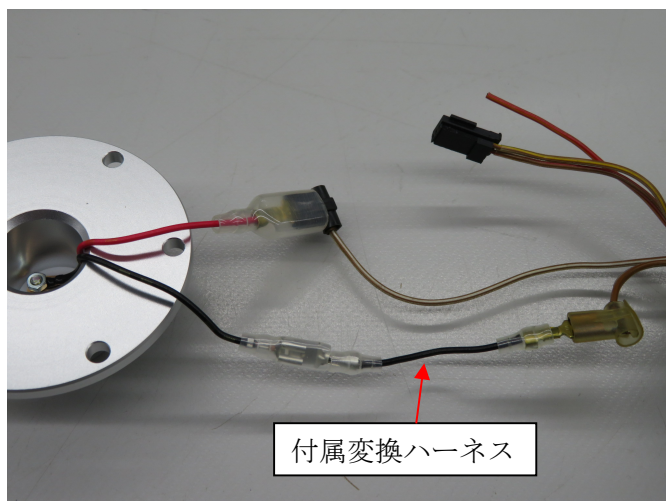
9、センターナット本締め

シャフトテーパ部をパーツクリーナー等で脱脂し、センターナットを 30N・m(3kgf・m)で締めて下さい。締め過ぎにご注意下さい。十字レンチやタイヤレンチを使用すると、トルクがかかり過ぎて破損につながります。必ずトルクレンチを御使用下さい。

10、ボスカバー取り付け

ボスにボスカバーを取り付けてください。カバーが長すぎる場合などは、カットして合わせてください。(怪我に注意)

11、ラフィックスの取り付け



左図を参考に配線を接続します。

ラフィックスに付属しているアースリングは一枚のみソケット側に使用し、プラグ側黒配線(アース)を車両側のアース線に付属の変換ハーネスを使用して接続して下さい。

プラグ側ホーン配線(赤)は車両側のホーン(+)線に直接接続しますが、下図の様にブーツに干渉し端子が届きませんのでブーツを端子が届く長さまで切除するか、ブーツを端子から引き抜いた状態で接続してブーツをできるだけ被せて戻して下さい。



ネジ類やステアリング側などはラフィックスの取扱い説明書を参考に取り付けを行ってください。

12、作業終了

ラフィックスの取り付けが終わりましたらバッテリー端子を接続して、ウインカー、ホーンのテストをしてエンジンをかけてSRSモニターランプが消灯するのを確認して下さい。

(ホーン/ウインカー/直進状態等異常があった場合はバッテリー端子を外してから修正作業をして下さい)

13、備考

取り外したSRSモジュールは純正ステアリングに取り付けた状態でSRS本体を上に向けて保管して下さい。(保管方法は作業を行った場所にご相談下さい)

トラブルシューティング

Q:SRSモニターランプが点灯する(消灯しない)

A:作業中イグニッションキーを入れた、ジャンパー線を装着していない、
ジャンパー線の接続不良、等。

対策:ジャンパー線の接続を確認後、ディーラーの診断コンピューターで消灯して下さい。

(ジャンパー線が接続されていなかったり、接続不良だと消えません。また一部の車両で、電気的特性により消灯できない場合もあります。ご了承ください。)

Q:ステアリングのTOPが出ない

A:シャフトスプラインの1山以内のズレはタイロッドで調整します。

対策:ディーラー又は整備工場で調整して下さい。

Q:ステアリングを切ると異音がする

A:ボス内のSRSコネクターが干渉している

対策:動いているカプラー等をテープ又はタイラップ等で固定して下さい。



株式会社 ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706